

第5次計画各項目及び第6次計画策定に係る課題等のご意見の集約

1 第5次計画各項目について

(1) 第5次計画の目標1『男女平等意識を持ち、あらゆる分野への男女共同参画を推進します』に関するご意見

| 課題 | 委員のご意見（要約） |
|-----------------------------|---|
| 課題1 男女平等に意識づくりと理解の促進 | <p>◆施策の方向性③男性の家庭生活への意識啓発と参画支援は、当事者のみならず事業者や施設（医療機関、企業、保育園など）側の啓発・情報提供・理解がないと難しい。助成金や奨励金など公的制度の活用ができるので研修や勉強会をしないと浸透していかないと思う。</p> <p>◆男女差別はないと考える人（特に男性）は多いので、「性別によって自分のしたいことができない、しづらい人を減らす」「性によって行動が制限されることをなくす」というジェンダーフリーの意識づけと位置付けてはどうか。</p> <p>◆将来を見据える子どもたちへのアプローチが1番大切だと考える。ジェンダーに関しては小学生でも認識する子もいると思う。学校へ外部講師が授業を行い、「受容する心」を養わせてはどうか。</p> |
| 課題2 男女の参画推進 | <p>◆地域活動における男女共同参画では、ただ女性を増やせといっても男女共に共感を得られにくい。全体のバランス（年齢や性別比）が悪く、実際の運営や問題解決に支障がある分野を洗い出し、その上位に絞って男女共同参画を進めるのであれば、共感を得やすいと思う。</p> <p>◆イベント参加者に偏りがあり、進みづらいこともあると思う。「防災」「自治体」その他に対して「中学生・高校生」を巻き込んで「交流」「意見交換」「体験や実習」として男女共同参画について進めてみてはどうか。</p> <p>◆202030 が達成不能により延期となったことを受けて、葛飾区として議員、管理職等の女性リーダーの割合をどのようにしていくのか再度検討する必要があると思う。区内独自にクォータ制の導入を図ることなどを俎上にあげて検討し、理念に盛り込むか決めてもよいのではないか。</p> |

(2) 第5次計画の目標2『すべての人が生き生きと暮らすための支援を充実します』
に関するご意見

| 課題 | 委員のご意見（要約） |
|--------------------------------|---|
| <p>課題 1</p> <p>仕事と生活の調和の促進</p> | <p>◆施策の方向性②企業の労働環境改善に向けて、WLB 支援アドバイザー派遣事業は、育児介護休業法の改正に則した就業規則の作成アドバイスだが、令和3年1月には法改正がある。そのため、企業側から依頼を受ける前に改正内容と WLB の研修・講演会とその広報に相まって周知できる仕組みがあると良いと思う。</p> <p>◆「ライフ」の部分を充実させる。家事力をつけて自立できるようにすることを重視したい。例えば、インスタント食品を栄養満点にする。最新家電で時短料理。男性料理家のメニューを食べる etc…。企業などの協力を仰ぎ、ちょっとしたことで生活力がアップする方法を体感する「お得感や楽しみ」がある企画で多くの人を巻き込んではどうか。</p> <p>◆WLB の課題には世代間のギャップがあると思う。就業規則を整えただけでは難しい。大事なことは「相手を理解すること」だと考える。「ライフ・スケッチ」というカードゲームを通してギャップの解消に努めたことがある。経営者は「うちはちゃんとやっている」というが、実際には否定的な言葉を言われて休暇が取れない人が多くいると思う。ルール作りの前に課題のあぶり出しが必要だと思う。また、「葛飾育休宣言」なるものを HP に作り、男女（特に男性）に育休を取らせている会社をアピールさせてはどうか。</p> <p>◆介護離職を防ぐ施策の充実</p> <p>◆現在、何らかの事情（配偶者の転勤、妊娠出産、育児、介護、自身の体調不良、ブラック企業など）で中途離職すると正社員として再就職や復帰することが困難である。さらに職業生活継続のための支援を充実させた方がよい。また、女性への支援とすることで性別役割分担の考えを促進してしまいがちなので、男性にも支援の範囲は広げた方がよい。</p> |
| <p>課題 2</p> <p>健康支援</p> | <p>◆妊娠と出産は、女性は学校で授業があると思うが、今回、コロナ禍で若年層の妊娠が問題になった。性については男女共に若年層から理解してもらえよう「医師会」の協力を得て授業をした方が良いと思う。</p> <p>◆教育施策の分野かもしれないが、学校における性教育の推進。望まない妊娠や出産が、虐待や貧困の悪循環を生む可能性を考えると、リプロダクティブヘルス・ライツに関する十分な教育の推進をするべきである。</p> |

| | |
|----------------------|---|
| | ◆更年期障害や老年期の心身の健康などを知る機会を増やし、医療面だけでなく生活面や精神的支援を充実させるべきである。 |
| 課題 3 | ◆障害者に対するのアプローチでキャリアデザインを一緒に考えてはどうかと思う。2016年にキャリアコンサルタントという国家資格が誕生し、様々な場所で支援している。こうした方々にお手伝い頂き、キャリアデザインを学ぶ場所、学校を作ってはどうか。 |
| 生活上困難な状況を解消するための取組促進 | |

(3) 第5次計画の目標3『人権が尊重される社会づくりに取り組みます』に関するご意見

| 課題 | 委員のご意見（要約） |
|-----------|---|
| 課題 1 | ◆暴力やハラスメントはやる側の意識に問題があると思う。特にハラスメントは理解していない方が多くいると思う。学校での授業はもちろん、企業にも協力してもらい、講習を受けて頂くよう働きかけをしてはどうか。 ◆デートレイプや性的同意などについての早期からの教育の必要性。 ◆モラルハラスメントについてもっと知られてもよいのではないか。 ◆暴力の被害者は女性のみとは限らないので、男性被害者への支援策も必要である。 |
| あらゆる暴力の根絶 | |
| 課題 2 | ◆目標1の課題1と一緒にすべきと思う。 ◆幼児からのアプローチが必要だと思う。保育士や幼稚園の先生、保護者に対するの体験授業的なアプローチができると良い。 ◆同性婚や同性パートナーシップについて、そろそろ区として盛り込んでよいのではないか。 |
| 多様性の尊重 | |

(4) 第5次計画の推進体制に関するご意見

| 課題 | 委員のご意見（要約） |
|---------------|---|
| 課題 1 | ◆施策の方向性①男女平等推進センター機能の充実について、男女平等に関する書籍等の収集提供など、図書資料室のことを指すのであれば、平日のみの開催だと土日休みの働く世代は閲覧できない。隔週でも良いので開室してはどうか。 ◆男女平等推進センターは「男女平等」と思っている人からは遠い存在になっている。都や国の動きと合わせる部分がほとんどだと思うが、葛飾区は「性別によって自分がしたいことができない、しづらい状態をなくし、すべての人が生き生きと暮らす」支援するという方針を前面に出してほしい。 ◆推進の強化は民間の力を活かすことだと考える。そのためには区内の「内需」をどう増やすかだと思う。「葛飾区内で働き、生 |
| 推進体制の強化に向けた取組 | |

| | |
|------------|---|
| | 活ができ、時間を有効に使うか」は企業誘致・学校誘致を行うことで、人口が増え区民の生活は豊かになると考える。 |
| 課題2 | |
| 国・東京都等との連携 | |

2 第6次計画策定の基本的な考え方に関するご意見

| 課題 | 委員のご意見（要約） |
|--|---|
| (1) 男女平等社会の実現に向けて重点的に取り組むべき施策・課題を明らかにするとともに、実現性・実効性の高い計画となるよう配慮する。 | ◆学校教育の中にどれだけ「男女平等」「働き方＝キャリア教育」「ハラスメントに関する教育」を導入するかだと思ふ。犯罪も低年齢化してきて、知識の少ない子どもが暴力に訴えることも。親や地域の方が教えてくれたのは昔の話で、今はネットに書かれていることが常識化している。ネットは自分都合で解釈されるので、ぜひ「葛飾モデル」として先生や外部の力を借りて区民全体で協力できるよう考えたい。 |
| (2) 少子高齢化への対策、東日本大震災を経て今後必要とされる災害時の対応、地域との協働など、本区の地域特性を踏まえた計画とする。 | ◆地域の特性もあるが、マイノリティの種類に特化した避難所運営・施設を踏まえた計画（高齢者・障害の特性、ペット有、トイレ3種（男女他））にならないか。 ◆少子高齢化問題は、「結婚」「子育て」など個人の問題も多く解決は難しい。区としては外部から積極的に移ってきてもらうよう考えてみてはどうか。災害は子どもの発想が役に立つ場合がある。意見を求めてみてはどうか。 |
| (3) 区民を対象とする意識と実態調査やパブリックコメントの実施等により、区民のニーズや意見を反映した計画とする。 | ◆ネットで参加可能になれば意見を言ってくれる方もいるのではないか。 |

3 その他ご意見

| 委員のご意見（要約） |
|--|
| ◆葛飾は「こち亀」「キャプテン翼」「寅さんに柴又」という世界にも通用する映像文化がある。その他にも「平松先生」やおもちゃの「タカラトミー」「セキグチ」と子どもが楽しみ、高齢者も喜ぶものがあると感じた。 ◆委員会審議にあたって、23区を中心として他の自治体の男女平等推進に関する計画を |

参考にする機会があってもよいのではないか。

◆概要版はまだよいが、計画書は文字が小さく、密に記入され、文字以外はグラフと表しかないので非常に読みづらい。書式の見直しがあってもよいのではないか。

◆新型コロナウイルスの収束が見えない現在、ポストコロナの男女共同参画のあり方について、計画の抜本的な見直しを踏まえた検討が必要ではないか。